

## 第4回 福祉教育研究 フォーラム

社会福祉職従事者養成教育に携わる高校と大学の教育交流と研修

# 社会福祉教育の展開

## —これから求められる福祉人材の養成—

社会福祉士及び介護福祉士法が改正され、社会福祉専門職養成は、新しい段階に入った。より実践力のある専門職養成が大きな課題であると同時に、多様化する今日の社会福祉ニーズに応じていく教育内容が求められている。一方で、高校生や大学生が社会福祉分野への進学や就職を敬遠する傾向が見られるなかで、改めて社会福祉教育の意義や福祉分野の仕事の魅力を伝えていく必要が生じている。こうした背景のなかで、私たちはどのような展望を持ちながら、これからの社会福祉教育を切り拓いていけばよいのか、本フォーラムでは、高校と大学の教職員が一体となって研究協議をしていく。

- 【主催】第4回福祉教育研究フォーラム実行委員会／日本福祉大学  
【共催】愛知県高等学校福祉教育研究会／三重県高等学校福祉教育研究会  
【後援】社団法人日本社会福祉教育学校連盟／愛知県教育委員会／静岡県教育委員会  
岐阜県教育委員会／三重県教育委員会／名古屋市教育委員会  
【日時】平成22年7月24日（土）10：00～17：00（受付開始 9：30）  
【会場】日本福祉大学名古屋キャンパス（名古屋市中区千代田5-22-32）  
JR中央線「鶴舞駅」・地下鉄「鶴舞駅」2番出口下車（徒歩約2分）  
※会場には駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【プログラム】 受付開始 9:30～

▼10:00～10:20 【開会挨拶】

▼10:20～12:00 【シンポジウム】 ■「これから求められる福祉人材の養成」

《シンポジスト》

諏訪 徹（厚生労働省社会・援護局総務課 社会福祉専門官）  
山本 たつ子（社会福祉法人天竜厚生会副理事長、前日本社会福祉士会副会長）  
大井 なお子（愛知県立宝陵高等学校）

《コーディネーター》

原田 正樹（日本福祉大学社会福祉学部）

..... [休憩 1 時間] .....

▼13:00～15:00 【分科会】 事例発表（13:00～14:00）・グループ討論（14:00～15:00）

■「社会福祉の基礎をどう教えるか」

専門教育にとらわれずに広く社会福祉の基礎を学ぶ取り組みの実践報告をうけ、皆さんと一緒にどうわかりやすく福祉を伝えていくかを考えていきます。

《事例発表》

① 鈴木 幹治（三重県立伊賀白鳳高等学校）

「社会福祉の基礎」を、学科を問わず全ての生徒に教える機会を～この、機会のあり方とともに、生徒に「何を伝え、何を考えて欲しいか」を、考えていきたい。

② 久野 康子（静岡県立清水西高等学校）

生活感のない高校生に、社会問題や日常生活が、社会福祉と深い関わりがあることを、どのように気づかせていくか。「普通高校の中で、全員履修が可能か」の考え方の一過程と、関心をもたせる工夫から、社会福祉教育の意義を問う。

《コメントーター》

諏訪 徹（厚生労働省社会・援護局総務課 社会福祉専門官）

原田 正樹（日本福祉大学社会福祉学部）

第  
一  
分  
科  
会

第二 分科 会	<p>■「実習教育とどう向き合っているか」</p> <p>高校や大学が地域とどう結びつきながら実習教育を展開しているか、それぞれの事例報告をもとに、意見交換を行います。</p>
	<p>《事例発表》</p> <p>1 大井 智香子（中部学院大学短期大学部社会福祉学科） 飛騨地域の関係機関の協力を得て実施している「地域交流宿泊研修」を中心に報告します。学生たちは、高齢者をはじめ近隣住民の方たちとの交流を通して生活風土にねざした福祉サービスのあり方について学んでいます。</p> <p>2 橋本 宏恵（愛知県立海翔高等学校） 開校から5年間を経た足跡をたどり、その間実施してきた福祉教育を振り返り、現在まで生徒に伝えてきたもの、育んできたものと、実習指導と関わる地域とのつながり作り等、本校の現状を再確認します。そこから今後の課題を見つめます。</p> <p>《コメンテーター》</p> <p>矢幅 清司（文部科学省初等中等教育局児童生徒課[産業教育振興室]教科調査官） 岡 多枝子（日本福祉大学社会福祉学部）</p>

<p>▼15:15～16:00【総括講演】 ■「高等学校における福祉教育について」</p> <p>《講師》 矢幅 清司（文部科学省初等中等教育局児童生徒課（産業教育振興室）教科調査官）</p>
--

<p>▼16:10～17:00【情報交換会】</p>
----------------------------

**参加費** 2,000円（ただし大学院生1,000円、学部生は無料）  
※昼食（お茶付き）を1,000円で用意しています（要申込）。

**定員  
130名**

**参加申し込み方法・お問い合わせ先**

郵送・ファックス・電子メールのいずれかの方法で参加申し込みを受付けます。

＜参加申込・お問い合わせ先＞

日本福祉大学 教育文化事業室  
福祉教育研究フォーラム係 Tel.052-242-3045

◆郵送

〒460-0012  
名古屋市中区千代田5丁目22番32号

◆FAX 052-242-3046

◆電子メール

forum10@ml.n-fukushi.ac.jp

◆日本福祉大学ホームページ

<http://www.n-fukushi.ac.jp/>

**申し込み締切日** 平成22年7月16日（金）

**交通アクセス**

